

LIBRARY



期末テストお疲れ様でした！1, 2年生は解放感たっぷり？3年生はこれからの夏休みをどう過ごすか考え中？今日から夏休み特別貸出実施中です。3年生も息抜きの為の本や勉強に役立つ本などぜひ！

『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒著 集英社 2022



全日本音楽著作権連名に入社して5年目の橘樹は、上司塩坪から、大手音楽教室ミカサへの潜入調査を依頼される。潜入先は二子玉川教室。中1の時に嫌な事件があってチェロをやめた橘は、再びチェロを手にすることが不安だった。しかし、目の前に現れた浅葉の人柄と、彼の弾くチェロの音色に魅了され、いつしか本気でチェロに取り組みだす。毎回のレッスンをひそかに録音し、ミカサが著作権使用料を払うべき楽曲を使っている証拠を集めるのが橘の仕事であったが、浅葉がプロへの登竜門である大きなコンクールに最後の挑戦をすると知り、ある決断をくだすのだった…。本屋大賞第二位の作品！

『セントエルモの光』 天川栄人著 講談社 2023



母の仕事の都合で、3年過ごした東京で、いじめにあい、傷ついて故郷に戻ってきた安斎えるも。幼なじみの古雪と春彦がいる高校に進学したが、新しい友人たちとうまくやろうと、SNSにべったり。あきれた古雪に部活を決めたらと言われ、入部したのが廃部寸前の天文部。それというのも、たった一人の部員兼部長である橋本嵐士の変人ぶりが、孤高の人にも見え、顧問に誘われてみた満天の星空に心を奪われたからだ。都会であろうと田舎であろうと、イマドキの高校生にとっては、SNSは必需品かもしれないが、すぐにつながれる生活は息苦しくもある。えるもは新たな人間関係を築き始める。秋には早くも続編が！

『文通日記』 眞島めいり著 講談社 2023



ちさとは、中2の終了式に、貴緒からあっさり春に引っ越しをすることを告げられる。同じ市内ならいざ知らず、電車で2時間もかかる横浜だという。初めて信頼できるともだちに出会えたちさとは、これからも隣にはずっと貴緒がいると思っていた。衝撃をうけるちさとは、貴緒は文通を提案する。やがて貴緒からは丁寧に書き込んだ絵に短い言葉が添えられた手紙が届く。ちさとはすぐに返事を書く。でも、やがてそれだけでは満たされない思いが…。

『ロンドン・アイの謎』 シヴォーン・ダウト 東京創元社



12歳のテッドがロンドンの町でいちばん好きなのは、史上最大の観覧車ロンドン・アイに乗ることだ。いとこのサリムがまだ乗ったことがないと知り、姉のカットと3人でチケット売り場に並んでいると、見知らぬ人が土壇場で高所恐怖症のため乗りたくないからとチケットを1枚くれた。それをサリムにあげると、サリムは喜んで乗り込んだ。ところが、戻ってきた観覧車から忽然とサリムは消えていた。密室からどうやってサリムが姿を消したのか。当然大騒ぎになるが、テッドは、この不可解な謎に挑む。この物語の見どころは、数や法則性にこだわりが強い一方、慣用句や比喩が通じないテッドによる見事な推理だろう。アイルランド出身の作家による見事なYA作品！

『ギガタウン漫符図譜』 こうの史代著 朝日新聞出版 2018



漫符とは、漫画特有の表現記号のことです。漫画を読み慣れている人なら、当たり前に入っているでしょうが、このさんによると、身近に漫画を読めない人がけっこういて、その人たちに解説しようと、漫符を採集し、その用例を説明するためにこの漫画を描いたということです。あの有名な『鳥獣戯画』に出てくる動物たちを主人公にしたシュールな4コマ漫画です。

『希望の怪物』 田村景子著 笠間書院 2023



荒俣宏、高橋敏夫の流れを受け、筆者のスタンスは、「怪物が現れた、怪物とともに変わる！」だという。誰もが知るようなマンガ、アニメ、映画、ライトノベルに描かれる怪物たちをとりあげ、考察する。このなかで、世中図書館でお目にかかる怪物といえば、『風の谷のナウシカ』『AKIRA』『新世紀エヴァンゲリオン』『屍鬼』『砂糖菓子の弾丸は打ち抜けない』『進撃の巨人』か。

『世界はこんなに美しい』ノヴェスキー文 モースタッド絵 工学図書



1973年、アンヌはたった一人でパリを出発。4か月かけてバイクで世界一周をしました。女性では初めてのことで、それから長い年月が経ち、ニューヨークタイムスの表紙を飾ったのが、バイクにまたがる若く美しいアンヌの姿です。ノヴェスキーは、パリ行きの飛行機に乗ってアンヌに会いに行きました。世界を旅し、好きなように行き来し、簡単に国境が越えられることは、今となっては幸運なことだとノヴェスキーは書いています。でも、若者が自分の目と心を通して、世界が美しく良いものだと思える能力と自由をもつことこそ、著者の願いでもあるのです。

『東大の先生！超わかりやすくビジネスに効くアートを教えてください』



三浦俊彦著 かんき出版の本です。そして、岩本先生からの推薦本です。この本は、“アート”には1ミリも興味がないし、知識もないと思っていた人を180度変えてしまう本なのです。この本の聞き手である郷氏がまさにそれ。ものの見方や価値観が変わるのは、いかにそれまで自分が「先入観」や「習慣」に捕らわれていたかに気づくからなのですが、さて、まだたった12~15年しか生きていない中学生も、すでにしっかり固定観念に縛られていたりするのかな？ 試しに読んでみませんか？

ふだん使いの文章レトリック ながたみかこ著 笠間書院 2023



レトリックとは、この本では、「文章を魅力的に表現するための技法」と定義されています。たとえば誇張法は極端な表現でユーモアを交えること。「耳にタコができる。」とか「雨が降ろうが槍が降ろうが…」です。言いつらいことを遠回しに言うのは婉曲法。擬人法だったら、人に見立てるので、「草花が地面から顔を出す」「木々が裸になる」。文章を書くことを生業としていなければ、いちいち〇〇法なんて意識していないのが、一般的な大人かもしれませんが、言葉に対する感度をあげたい人や、良い文章を書きたいというひとにはお勧めかも。

6月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録No.	NDC	書名 1	著者名 1	出版者	出版年
039119	141I	アイデアはどこからやってくる?	岩井俊雄	河出書房新社	2010/06
039136	141K	「過敏さ・繊細さ」解体新書	熊谷晋一郎 編著	シャボンソニスト社	2021/04
039187	210I	超訳深読みしたい人のための歴史書図鑑	伊藤賀一 監修	かんき出版	2023/01
039173	289M	宮本常一と民俗学	森本孝	玉川大学出版	2021/09
039177	289O	荻野吟子とジェンダー平等	堺正一	玉川大学出版	2022/10
039176	289T	留岡幸助と自立支援	藤井常文 著	玉川大学出版	2022/09
039175	289T	田中久重と技術	河本信雄	玉川大学出版	2021/10
039174	289T	寺田寅彦と物理学	池内了	玉川大学出版	2021/07
039149	311O	教室を生きのびる政治学	岡田憲治 著	晶文社	2023/04
039127	312T	13歳からの地政学	田中孝幸 著	東洋経済新報社	2022/03
039106	316N	SNS時代の写真ルールとマナー	日本写真家協会	朝日新聞出版	2016/07
039150	336N	話し合いの作法	中原淳 著	PHP 研究所	2022/09
039137	336Y	武器になる哲学	山口周 著	KADOKAWA	2018/05
039184	361T	希望の怪物 = Monsters of hope	田村景子	笠間書院	2023/01
039139	365K	13歳から考える住まいの権利	葛西リサ 著	かもがわ出版	2022/12
039189	367Y	どうなってるんだらう?子どもの法律	山下敏雅 編著	高文研	2022/09
039170	369A	学校では教えてくれない生活保護	雨宮処凛 著	河出書房新社	2023/01
039133	369I	ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界 と聴こえない世界を歩き来して考えた...	五十嵐大	幻冬舎	2021/02
039134	371K	先生、どうか皆の前ではめないで下さい	金間大介	東洋経済新報社	2022/03
039186	383K	江戸の衣装と暮らし解剖図鑑	菊地ひと美	エクスレッジ	2023/03
039179	455T	日本列島誕生のトリセツ	高橋典嗣 監修	昭文社	2023/01
039120	489	キリンの保育園	齋藤美保	京都大学	2021/06
039160	493S	中高生の身長を伸ばす7つの習慣	佐藤智春	主婦の友社	2020/05
039111	501I	体はゆく	伊藤亜紗 著	文藝春秋	2022/11
039180	548W	NASAのロボット蜂	ロバート・ウォー	創元社	2023/02
039185	651S	地域森林とフォレストー	鈴木春彦	築地書館	2023/04
039178	757S	色のコードを読む	ポール・シンプソン 著	フィルムアート社	2022/12
039172	910W	笑いの力、言葉の力	渡邊文幸	理論社	2022/07
039146	913A3	赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。	青柳碧人	双葉社	2022/10
039147	913Ma	暗闇の非行少年たち	松村涼哉	KADOKAWA	2022/12
039140	913Ma	かがやき子ども病院トレジャーハンター	まはら三桃 著	講談社	2022/01
039148	913Ma	犯人は僕だけが知っている	松村涼哉 [著]	KADOKAWA	2021/12
039144	913Ya	ぼくたちはまだ出逢っていない	八束澄子	ポプラ社	2022/10
038950	914A	じゃむパンの日	赤染晶子	Palmbooks	2022/12
039142	973C	13枚のピンぼけ写真	キラー・カルミネーティ 作	岩波書店	2022/03

著作権特別講義

6/14(水)の委員会の日に、14時45分から15時半まで、前附属世田谷中学校音楽教諭で、現在は東京学芸子ども未来研究所フェローの原口直先生に、オンラインで講義を受けました。原口先生は、知的財産権を自身のライフワークにもなされていて、現在は教員や児童生徒向けの研修やワークショップの講師もされています。

世中図書委員は、著作権についてちょっと詳しくなりました。試しに、著作権で迷ったら、これって大丈夫?って、聞いてみてください。もちろん図書館には役立つ本もたくさんありますよ。



こんなことやってます!



75回社会科 ディベートのための資料探し



先生から提示された4つのテーマのひとつをグループで担当し、是非を問うディベート。資料集めも真剣でした。授業も白熱していましたね。

テーマ研究 翻訳の世界



図書館には海外絵本に関しては、英語版と日本語版を揃えているものもあります。今回はジョン・クラッセンの『THIS IS NOT MY HAT』を各グループで日本語訳に挑戦。それぞれ工夫を凝らし、絵本に相応しい言葉を考えていました。実は日本語訳はタイトルからして、誰もが予想できないもので、森先生が明かしたら、みんなが、「えーっ!」とびっくり。見学していて実に面白かったです。

77回生 国語 説明文を書こう



自分の好きなモノについて書かれた本を図書館で探し、読んで説明文を書き、クラスで発表しました。